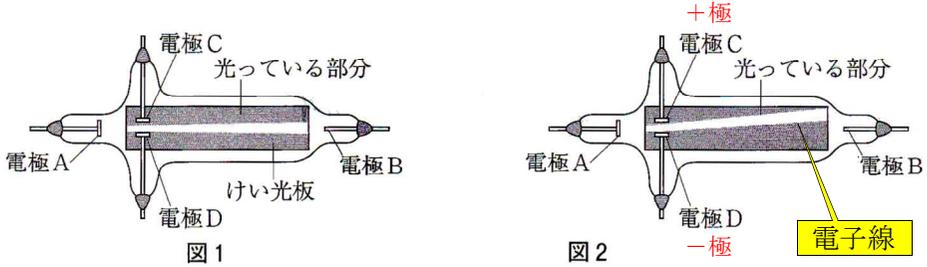


問1(ア)

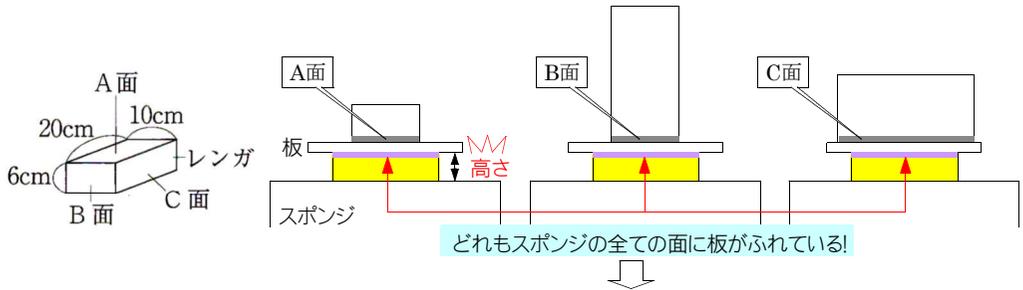
図2のようすから、けい光板に当たりけい光板を光らせている粒子と電極Dについて述べているものとして最も適するものをあとの1~4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。



1. 粒子は+の電気を持ち、電極Dは+極である。
2. 粒子は+の電気を持ち、電極Dは-極である。
3. 粒子は-の電気を持ち、電極Dは+極である。
4. 粒子は-の電気を持ち、電極Dは-極である。

電子線は直進する	電子線は+極の方に曲がる。
電子線は-の電気を帯びている	電子線はS極に近づく 電子線はN極から遠ざかる

問1(イ) スポンジの高さの変化について最も適するものを選び。



ポイントは、スポンジと板のふれ合う面の広さで、スポンジに加わる圧力が変わるので、もし、ふれ合う面の広さが同じならば、同じ重さのレンガをのせているので、加わる圧力は変わらず、スポンジの高さも変わらない。

1. A面が板にふれ合うとき最大となる。
2. B面が板にふれ合うとき最大となる。
3. C面が板にふれ合うとき最大となる。
4. 板にどの面がふれ合うときも同じとなる。